



青森都市圏ONE TEAM

## 青森圏域連携中枢都市圏ビジョン（変更案）の概要

○以下について、ビジョンの変更(具体的取組の新規追加)を行う。

(具体的取組の総数 : [現在] 48事業 ⇒ [変更案] 52事業)

### 新規4事業

事業番号	事業名	事業概要(案)	資料3-2の掲載ページ等
33	心豊かな子ども読書活動推進事業	○圏域内の児童生徒から、学校図書館等の図書を対象にした読書感想文や読書新聞を募集し、コンクール形式で表彰することで、圏域全体における児童生徒の読書啓発に資する。	21 ページ
38	地域花いっぱいまちづくり事業	○圏域内の各市町村において地域色豊かな緑化活動を推進していくために、公園緑地などに花植えをする団体に対し、花苗等資材の提供などを行う。	23 ページ
44	森と湖に親しむ集い事業	○圏域内の各市町村の次世代を担う小学生を対象として、森や川の役割について関心を持ち、自然保護意識の醸成を図るためのダム施設等の体験学習の機会を提供する。	26 ページ
50	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業	○豪雪災害時においても、圏域内の各市町村において住民生活の維持及び道路交通の確保ができるよう、連携して除排雪作業ができる体制の構築を目指し、除排雪力の向上に資する取組(除排雪オペレーター講習会)や情報共有を行う。	29 ページ

# 33 心豊かな子ども読書活動推進事業 (圏域事業に追加)

## 【現状と課題】

### 現 状

○青森市小・中学生を対象として実施。  
○本事業の読書感想文コンクールへの応募数は、長い期間で見ると、増加傾向であったが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、応募数が大きく減少した。

【実績（青森市）】

年度	応募数（点）
平成28年度	5, 112
平成29年度	5, 574
平成30年度	6, 175
令和元年度	5, 832
令和2年度	4, 045

### 課 題

**○読書活動に親しみやすい環境を創出し、読書に関心を持ち、豊かに表現活動をする児童生徒を増やすことが必要である。**

**○令和3年度に、ICTを活用した読書新聞デジタル部門を創設するなど、読書に関わる表現活動に取り組みやすい環境の創出を進めており、今後、対象を圏域に広げることによって、より多くの児童生徒に読書活動に親しんでもらう。**

## 【事業内容】

### 心豊かな子ども読書活動推進事業

**対象を青森市から圏域内5市町村に拡大し、児童生徒から、学校図書館等の図書を対象にした読書感想文や読書新聞を募集し、コンクール形式で表彰することで、圏域全体における児童生徒の読書啓発に資する。**

- 主な対象：構成市町村の児童生徒
- 主な内容：小・中学校読書感想文部門  
小・中学校読書新聞部門  
小・中学校読書新聞デジタル部門

### 読書感想文コンクール

- 住民に審査員を依頼し、読書感想文コンクールを開催します。
- 各部門から、「最優秀賞1編」「優秀賞1編」「優良賞2編」「佳作数編」を選出し、賞状を送付する。
- 読書感想文コンクール入選作品集を作成し、圏域全体（小・中学校、役所、公民館等）に配付する。



## 事業スケジュール

- 5月 読書感想文コンクール実施要項送付
- 9月 作品応募締切
- 10月 審査会開催
- 11月 表彰（各校で）

## 【事業効果】

圏域内の児童生徒から、学校図書館等の図書を対象にした読書感想文や読書新聞を募集し、コンクール形式で表彰する。



入選作品集を作成する。



多くの作品に触れ、自分の考え方を豊かにする場となる。



圏域全体における児童生徒の読書啓発

# 38 地域花いっぱいまちづくり事業 (圏域事業に追加)

## 【現状と課題】

### 現 状

○圏域内5市町村においてはそれぞれで緑化事業を進めており、各市町村での取組方法はさまざまとなっている。

○各市町村において、緑化事業を推進している中、人口減少・少子高齢化の影響もあり、活動団体の緑化に携わる住民が減少している。

【実績（青森市）】

年度	花苗等提供団体数
平成28年度	75団体
平成29年度	78団体
平成30年度	76団体
令和元年度	76団体
令和2年度	79団体

### 課 題

○各市町村が緑化実施団体の把握に努め、積極的に緑化活動を進めるなど、地域コミュニティの強化が必要。

○住民・事業者・行政がパートナーシップのもと、圏域内の5市町村が連携して、地域の緑化を進めていく。

## 【事業内容】

### 地域花いっぱいまちづくり事業

これまで個別に実施していた緑化事業について圏域内5市町村が連携し、住民・事業者・行政がパートナーシップのもとで行う公園緑地及び街路樹柵や公共空地への花植え・管理活動に対し、花苗等を提供するなど、圏域全体で地域色豊かな緑化活動を推進する。

対象：圏域内5市町村において緑化活動を行っている団体

内容：自治体内において公園緑地及び街路樹柵や公共空地への花植え・管理活動を行っている団体に対し花苗等を支給



## 事業スケジュール

春  
4月 申請受付  
6月 資材配布  
7月 活動報告

秋  
8月 申請受付  
10月 資材配布  
12月 活動報告

## 【事業効果】

緑化に携わる地域住民の増加  
↓  
各地域における緑化の推進  
↓  
地域の活性化  
↓  
連携による、結びつきやネットワークの強化  
※イベント時での連携した緑化活動  
(例：国民スポーツ大会など)

# 44 森と湖に親しむ集い事業 (圏域事業に追加)

## 【現状と課題】

### 現 状

○自然環境は、人が暮らしていくための重要な基盤であり、自然の豊かさは、住みやすいまちであるための大切な要素となっている。

○全国的に子ども達が自然環境を体験する機会は減少傾向にある。

【実績（青森市）】

年度	参加人数
平成28年度	1校 99人
平成29年度	1校 102人
平成30年度	1校 120人
令和元年度	2校 117人
令和2年度	中止

### 課 題

○地球温暖化の進行や海洋汚染などが世界的な自然環境の課題となっているほか、我が国では耕作放棄地や手入れの行き届かない森林なども課題となっている。

○自然環境の保護を図るため、圏域内5市町村や関係団体が一体となった環境保全の取組が必要。

次世代を担う子どもを対象に、国・県と共同で、森や川の役割・重要性を学ぶ機会を提供し、自然保護意識の醸成を図る。

## 【事業内容】

### 森と湖に親しむ集い事業

対象を青森市から圏域内5市町村に拡大し、社会科で治水を学習する小学生を対象に、「森と湖に親しむ集い」を、(国)青森森林管理署、(県)駒込ダム建設所と共同で実施する。

<内容（予定）>

下湯ダム「森と湖に親しむ集い」

- ①講話等（ダム教室、森林教室、河川の役割と働きなど）
- ②ダム探検（洪水吐、水力発電施設など）
- ③記念植樹

ダム教室



ダム探検



森林教室



記念植樹



## 事業スケジュール

- 4月 駒込ダム建設所及び小学校担当者との連絡調整（開催日程等）
- 6月 バス業者と契約し、小学校等担当者との連絡調整
- 7月 「森と湖に親しむ集い」開催
- 2月 次年度の実施校の選定依頼

## 【事業効果】

環境保全の取組の一つとして、次世代を担う小学生を対象としたダム見学や植樹等の体験学習を行う。



森や川の役割を学び自然保護意識の醸成を図る。



環境保全に対する関心が圏域内5市町村の小学生に広がるほか、子ども達の体験を通し、同居家族等の意識醸成に波及する効果も期待できる。

# 50 除排雪力向上連携ネットワーク形成事業 (圏域事業に追加)

## 【現状と課題】

### 現 状

○昨冬においては、まとまった降雪が続いた際に、幹線・補助幹線の除雪作業に相当の日数を要し、工区の除排雪作業の開始に遅れが生じた。  
 ○工区の作業開始後においても、まとまった降雪のため、再度の作業が必要となり、また、雪質が氷結したために作業日数を多く要した。  
 ○雪堆積場までの排雪運搬ルートの道路状況の悪化や各工区の作業が集中したことによる雪堆積場のダンプトラックの混雑により、排雪作業に時間を要した。



生活道路などの工区の除排雪作業を終えるまで多くの日数を要し、住民生活に大きな支障をきたした。

【実績（青森市）】  
 平成24年度～

除排雪オペレーター講習会  
 1回/年開催

### 課 題

**○昨冬のような、災害級のまとまった降雪が続いた場合には、通常の委託事業者のみでは、除排雪作業に遅れが生じ、住民生活に支障が生じる。**

**○雪対策において同様の課題を有する圏域内5市町村が連携した除排雪体制を構築する。**

## 【事業内容】

### (仮称) 除排雪力向上連携ネットワーク形成事業

**対象を青森市から圏域内5市町村に拡大し、除排雪オペレーター講習会を実施するなど、豪雪災害時においても、圏域内の各市町村において住民生活の維持及び道路交通の確保ができるよう、連携して除排雪作業ができる体制の構築を目指し、除排雪力の向上に資する取組や情報共有を行う。**

#### 【令和4年度】

○運転技術の向上や安全意識の向上を目的とした、除排雪オペレーター講習会の開催

#### 【令和5年度】

○ICT等を活用した先進的な事例の情報収集、情報共有  
 ○除雪オペレーター担い手育成支援事業の連携事業化検討

#### 【令和6年度】

○連携した除排雪体制の構築に向けた協議開始  
 ( (仮称) 豪雪災害時応援協定締結を想定)

#### 除排雪オペレーター講習会の開催

○青森圏域の除排雪を担う者を対象に、運転技術の向上や安全意識の向上を図るため、除排雪オペレーター講習会を開催。

【対象】 圏域内5市町村の受託除排雪事業者・行政職員



## 事業スケジュール

- ～8月 関係町村と情報共有・周知活動
- 12月 除排雪オペレーター講習会開催
- 1月～ R5実施事業実施に向けた調整

## 【事業効果】

圏域内5市町村の除排雪力の向上や情報共有に資する取組の実施。



圏域内5市町村間において、雪対策に関する問題意識の共有や除排雪技術の平準化等が図られる。



圏域内5市町村間において、雪対策に関して同様の課題を有する市町村としての一体感が醸成される。



圏域内5市町村が連携した除排雪体制が構築される。



雪に強く快適で安全な地域づくりの推進。